

1. 摘採時調査結果

	本年		前年		平年（5カ年平均）	
		指数		指数		指数
摘採日	6月13日	—	6月7日	—	6月7日	—
生葉収量 (kg/10a)	333±48.8	153	265±55	122	218±48.8	100
百芽重 (g)	36.2±6.5	115	37.6±1.5	120	31.4±3.6	100
新芽数 (本/m ²)	1,492±335	144	1,080±101	105	1,033±223	100
出開度 (%)	64.3	—	46.7	—	42.7	—

2. 概況

(1) 気象

気温：5月第3半旬及び6月第2半旬は、平年並みであった。5月第4～5半旬は平年より高く推移し、5月第1～2半旬は平年より低く推移した。

降水量：5月第2、第5半旬、6月第2半旬は平年より倍以上の降雨があった。本年の四国地方の梅雨入りは6月8日であり、平年と比べて3日遅く、昨年と比べて9日早かった。

(2) 茶芽の生育

摘採日は6月13日で、前年及び平年と比べて6日遅かった。平年（5カ年平均）と比べて収量は333kgで、153%であった。また、百芽重は115%で、新芽数は144%であった。出開度は64.3%であった。

(3) 病害虫の発生

二番茶摘採時期において作況調査ほ場で病害虫による目立った被害はなかった。

3. 気象グラフ

気象経過図 (2025年)

観測地点：高知県農業技術センター茶業試験場内(高知県吾川郡仁淀川町森2792)



